

これまで総括と今後について

平成30年2月22日

国土交通省総合技術開発プロジェクト

3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発

3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発委員会

委員長：佐田達典（日本大学教授）

検討内容： マルチパス軽減（GNSS） 3次元建物情報

3次元地図仕様・作成方法 **屋内測位・屋外測位・屋内外シームレス化**

位置情報基盤WG（平成27年8月）

主 査：越塚 登（東京大学教授）

委 員：春山 真一郎（慶應大学教授）、石川 徹（東京大学准教授）

構成員：【関係事業者】東日本旅客鉄道株式会社、ジエール東日本コンサルタツ株式会社
東京地下鉄株式会社

【行政】東京都、国土交通省

ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会

高精度測位社会プロジェクト検討会

総括：これまでの取り組み

平成27年度

平成28年度

平成29年度

「位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様」の検討、策定、見直し

Ver.0.3

Ver.1.0

見直し

Ver.1.1

- 屋内外の各測位手法の統一化についての検討
- 屋場所情報コードを活用した3次元位置情報の標準化の検討

- 標準仕様 Ver.1.0策定
 - ・パブリックタグの品質情報に関する検討

- ガイドライン作成
 - ・ビーコン配置等の検討
 - ・位置情報計測手法
 - ・検討部会開催

整合

「屋内測位のためのBLEビーコン設置に関するガイドライン」の整備

連携

実証実験参加者へのアンケート結果の集約

高精度測位社会プロジェクトとの連携（実証実験・ガイドライン）

パブリックタグ登録
東京駅周辺 約300個

新宿駅周辺 約180個
成田空港 約500個
日産スタジアム 約130個

新横浜駅

須崎市・会津若松市



パブリックタグ登録促進

APIの改良

システム改良

「パブリックタグ情報共有プラットフォーム情報提供サイト」の作成

登録申請API・パブリックタグ即時登録サンプルサイトの開発

主な成果	内 容
・ 位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様	各種測位デバイスの位置情報や属性情報を標準化し、オープンデータとして情報共有化する規定
・ BLEビーコン設置に関するガイドライン	屋内測位環境を構築をする場合の、BLEビーコンの設置作業における技術面における考慮点
・ パブリックタグ情報共有プラットフォーム ・ APIの開発	場所情報コード（uPlace）の発行をはじめ、パブリックタグ情報を登録・管理・利用するためのシステム
・ パブリックタグ登録数 BLE：約1000個 （平成30年2月時点）	高精度測位社会実証実験PJ実証実験及び自治体設置による登録

1. パブリックタグの登録機関等との連携
 - ・パブリックタグの追加登録を促進
 - ・パブリックタグ情報共有プラットフォームによるデータ管理

2. パブリックタグの普及に向けた広報
 - ・講演会などでの発表
 - ・新たな登録機関の開拓

3. その他
 - ・必要に応じて、システムの改良等を検討